

令和3年度 指定管理者管理運営状況評価

1.施設概要

施設名	都市農村交流施設古民家松本部	施設所管課	産業経済課
指定管理者	特定非営利活動法人 古瀬の自然と文化を守る会		
指定期間	令和2年1月1日から令和4年3月31日まで(2年3カ月間)		
施設目的	都市住民に食と農を主とした交流と体験を提供する拠点としてサービスを提供していくことで農業・農村の理解を深め、ひいては、都市住民との交流人口の増加を図り、都市部からの移住・定住を促進させることを目的としている。		
所在地	つくばみらい市筒戸2560番地1		
施設概要	古民家松本部は、都市と農村の交流を通じて都市住民の農業と農村に対する理解促進のために、つくばみらい市都市農村交流施設条例(平成20年条例第28号)及びつくばみらい市都市農村交流施設条例施行規則(平成20年規則第31号)に基づき活用している。		
主な業務内容	(1) 管理運営に関すること。 (2) 維持管理に関すること。 (3) 修繕費の区分に関すること。 (4) 利用許可に関すること。 (5) 利用料金の取扱い等に関すること。 (6) 建築基準法による利用の制限に関すること。 (7) 広報及び各種情報の提供に関すること。 (8) 都市農村交流事業に関する各種事業の実施に関すること。		

◎評価基準

- A/5点…優れている
- B/4点…適正である
- C/3点…改善が必要である
- D/0点…仕様書等が順守されていない

2.運営評価

No.	項目(指定期間全体を通しての評価内容)	評価・評点	評価理由(日以外の評価の場合)
(ア)実施体制に関する評価	1 適切な人員配置が行われたか。	B 4	
	2 職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	B 4	
	3 個人情報保護条例の規定を遵守し、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、漏えい、滅失及びびき損等の事故が起きていないか。	B 4	
	4 市情報公開条例の趣旨に則り、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または市から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	B 4	
	5 事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	B 4	
	6 市からの改善事項を受け適切な改善を行ったか。	B 4	
(イ)サービス等の内容や水準に関する評価	7 利用者アンケート等により、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取り組みが行われたか。	C 3	コロナ禍により、来館人数が少なく、口頭でしか意見を聴取できていなかったため。今後はコロナ禍でも行える都市農村交流の企画をして、来館人数の増加及びアンケートの実施に努めてほしい。
	8 利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	C 3	アンケートが口頭でしか行っていないので、来年度以降はアンケートをしっかりと行えるようにしてほしい。
	9 利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	B 4	
	10 利用者数等の実績が目標値に達しているか。	C 3	新型コロナウイルス感染状況により、臨時休館や利用制限があったことはやむを得ないが、利用者数は目標値に達していない。
	11 市民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	C 3	現在はホームページのみで更新頻度も低いため、ホームページやSNSなども活用し、時代に合ったPR方法でイベント情報などをリアルタイムで発信することを検討し実施してほしい。
	12 住民サービスの向上を図るための自主事業を積極的に計画し、実施しているか。	C 3	来年度はコロナ禍でも行える都市農村交流の企画・実施をしてさらに来館人数の増加に努めてほしい。
	13 利用者が快適に施設を利用できるよう適切に施設の保守、修繕、清掃等が行われたか。	B 4	
	14 備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	B 4	
(ウ)収支等の評価	15 省エネやゴミの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	B 4	
	16 金銭の管理が適正に行われたか。	B 4	
	17 指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	B 4	
	18 経費削減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	B 4	
19 収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。 ※収益性が低い施設の場合：適正な収入が得られているか。	C 3	来館者数は昨年度と比べると大幅に増加したが、学生などが大多数を占めるため、収益を得られていない。今後は、コロナ禍を踏まえた上で、収益性のあるイベントなども企画実施に努めてほしい。そのためにも、まずは利用者に対してアンケートをしっかりと実施してほしい。	
20 その他特徴的な取組があった場合具体的な取組を記入(都内の女子学園中等部や大学生などを招いて、イベントを行った。)	B 4		

【総合評価の採点方法】

合計点	評価
92点以上	A 優れている
80点以上91点以下	B 適正である
79点以下	C 一部改善が必要である
Dがある場合	D 改善が必要である

総合評価	C	74 / 100点	一部改善が必要である
------	---	-----------	------------

施設所管課の評価

都市と農村の交流を通じて都市住民に農業と農村に対する理解促進には「古瀬の会」の活動が有効である。今年度は新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、いくつかの事業を行い、来館員数については昨年度と比べて大幅に改善している。しかし、利用者のほとんどが学校関係者であり、時間が限られていたため、全員にアンケートを実施することができず、口頭での聞き取りのみとなっていた。来年度以降については、利用者アンケートについても適切に行い、利用者のニーズの把握、色々なアイデアを捻出、創意工夫をして、引き続き充実した都市農村事業を実施してほしい。

令和3年度 指定管理者管理運営状況評価

1.施設概要

施設名	つくばみらい市総合福祉施設きらくやまふれあいの丘	施設所管課	社会福祉課
指定管理者	社会福祉法人 つくばみらい市社会福祉協議会		
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)		
施設目的	高齢者、心身障がい者等の社会参加、生きがいづくり及び地域の世代間交流を図るため、きらくやまふれあいの丘を設置する。		
所在地	つくばみらい市神生530番地		
施設概要	すこやか福祉館(入浴施設、トレーニング室、多目的ルーム、大研修室、福祉団体活動室、教養倶楽室、介護教育室 等) 世代ふれあいの館(世代ふれあいホール、楽屋、リハーサル室、会議室 等) ゲートボール場、テニスコート、野外ステージ、ふれあい公園、自然散策の森、ふれあい広場、駐車場		
主な業務内容	きらくやまふれあいの丘の管理運営全般 (1)施設の管理運営に関すること。 (2)施設及び設備の維持管理に関すること。 (3)修繕費の区分に関すること。 (4)自主事業に関すること。 (5)利用許可等に関すること。 (6)利用料金の取り扱いに関すること。 (7)広報と各種情報の提供に関すること。		

◎評価基準

- A/5点…優れている
- B/4点…適正である
- C/3点…改善が必要である
- D/0点…仕様書等が順守されていない

2.運営評価

No.	項目(指定期間全体を通しての評価内容)	評価・評点	評価理由(B以外の評価の場合)
(ア)実施体制に関する評価	1 適切な人員配置が行われたか。	B 4	
	2 職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	B 4	
	3 市個人情報保護条例の規定を遵守し、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、漏えい、滅失及びき損等の事故が起きていないか。	B 4	
	4 市情報公開条例の趣旨に則り、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または市から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	B 4	
	5 事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	B 4	
	6 市からの改善事項を受け適切な改善を行ったか。	B 4	
(イ)サービス等の内容や水準に関する評価	7 利用者アンケート等により、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取り組みが行われたか。	B 4	
	8 利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	A 5	あらゆる点で満足度が高く評価されている。(概ね9割)
	9 利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	B 4	
	10 利用者数等の実績が目標値に達しているか。	C 3	新型コロナウイルス感染状況により臨時休館や利用制限を設けたのはいたしかたないが、利用者数は目標値に達していない。
	11 市民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	B 4	
	12 住民サービスの向上を図るための自主事業を積極的に計画し、実施しているか。	C 3	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行っている様々なサービス提供やイベントが中止になった。ただし、新しい生活様式に対応したサービスの提供、イベントは一部実施することができた。
	13 利用者が快適に施設を利用できるよう適切に施設の保守、修繕、清掃等が行われたか。	A 5	施設の修繕要望に対して迅速な対応ができています。また、利用者アンケートで「施設の清掃状況」について高い評価を得ている。
14 備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	B 4		
15 省エネやゴミの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	B 4		
(ウ)収支等の評価	16 金銭の管理が適正に行われたか。	B 4	
	17 指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	B 4	
	18 経費削減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	B 4	
	19 収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。 ※収益性が低い施設の場合:適正な収入が得られているか。	B 4	
20 その他特徴的な取組があった場合具体的な取組を記入(クリスマスイルミネーション・桜まつり)	B 4		

【総合評価の採点方法】

合計点	評価
92点以上	A 優れている
80点以上91点以下	B 適正である
79点以下	C 一部改善が必要である
Dがある場合	D 改善が必要である

総合評価	B	80	/100点	適正である
------	---	----	-------	-------

施設所管課の評価

施設及び付属設備の維持管理、利用料金の徴収業務、コロナ禍や修繕工事に伴う施設の管理運営を適正に行うなど、良好な事業運営がなされている。また、利用者アンケートでは「職員の接客・対応」や「施設・設備の利用しやすさ」、「施設の清掃状況」において高い評価を得ている。
 新型コロナウイルスの影響により例年実施している様々なサービス提供は休止、イベントは中止となり利用者数は回復していないが、そのような中、感染予防対策を実施しながらサービスの提供、事業を企画しており、地域福祉の推進に努めていることは大変評価できる。今後とも住みよい地域社会の形成と地域福祉の増進を図る事業展開を期待する。

令和3年度 指定管理者管理運営状況評価

1.施設概要

施設名	小網児童館	施設所管課	こども課
指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ		
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)		
施設目的	子どもに健全な遊びを与え、健康を増進し情操を豊かにし、児童の健全育成に関する拠点とするとともに、子どもたちの安全な居場所づくり、子育て家庭の不安感の解消、相談・情報交換及び保護者の交流拠点とする。		
所在地	つくばみらい市絹の台3丁目1番地4		
施設概要	敷地面積 1,841.44㎡ 建物延床面積 634.12㎡(集会室、遊戯室、図書室、便所(多目的トイレ)、事務室、創作活動室、和室、倉庫(含地下倉庫)、廊下等)		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営に関すること。 施設及び設備の維持管理に関すること。 修繕費の区分に関すること。 児童館事業に関すること。 利用料金の取扱い等に関すること。 運営委員会の設置に関すること。 広報と各種情報の提供に関すること。 利用にかかる実費相当額の徴収に関すること。 		

◎評価基準

- A/5点…優れている
- B/4点…適正である
- C/3点…改善が必要である
- D/0点…仕様書等が順守されていない

2.運営評価

No.	項目(指定期間全体を通しての評価内容)	評価・評点	評価理由(B以外の評価の場合)
(ア)実施体制に関する評価	1 適切な人員配置が行われたか。	B 4	
	2 職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	B 4	
	3 市個人情報保護条例の規定を遵守し、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、漏えい、滅失及びびき損等の事故が起きていないか。	B 4	
	4 市情報公開条例の趣旨に則り、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または市から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	B 4	
	5 事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	B 4	
	6 市からの改善事項を受け適切な改善を行ったか。	B 4	
(イ)サービス等の内容や水準に関する評価	7 利用者アンケート等により、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取り組みが行われたか。	B 4	
	8 利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	B 4	
	9 利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	B 4	
	10 利用者数等の実績が目標値に達しているか。	C 3	新型コロナウイルス感染状況により、臨時休館や利用制限があったことはやむを得ないが、利用者数は目標値に達していない。
	11 市民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	B 4	
	12 住民サービスの向上を図るための自主事業を積極的に計画し、実施しているか。	B 4	
	13 利用者が快適に施設を利用できるよう適切に施設の保守、修繕、清掃等が行われたか。	C 3	施設管理者の管理不足により、利用者の施設利用目的に沿わない物品配置により、漏水が発生し4日間(8月3日～6日)の臨時休館が生じ、サービスが低下した。
	14 備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	B 4	
15 省エネやゴミの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	B 4		
(ウ)収支等の評価	16 金銭の管理が適正に行われたか。	B 4	
	17 指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	B 4	
	18 経費削減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	B 4	
	19 収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。 ※収益性が低い施設の場合:適正な収入が得られているか。	B 4	
20 その他特徴的な取組があった場合具体的な取組を記入 (「こきぬ食堂」を新型コロナウイルス感染防止のため、テイクアウト形式で実施。臨時休館月の8月9月を除く年間10回。)	B 4		

【総合評価の採点方法】

総合評価	C	78	/100点	一部改善が必要である
------	---	----	-------	------------

合計点	評価	
92点以上	A	優れている
80点以上91点以下	B	適正である
79点以下	C	一部改善が必要である
Dがある場合	D	改善が必要である

施設所管課の評価

児童館については、文化、制作活動、体力増進活動のイベントが好評なので、マンネリ化しないよう新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら新たな企画を実施してほしい。
支援室についても、制作活動や体を動かすものが好評なので、児童館同様、いろいろなイベントを実施してほしい。
支援室は保護者も多く利用することから、地域と一体となったイベント(こきぬ食堂、なつまつり等)を通じて、地域住民と顔の見える関係づくりをすすめるなど、地域における信頼関係の構築に向けた取り組みを今後も積極的に実施してもらいたい。
引き続き、安全確保、職員体制整備に留意し、親子が楽しく参加できる事業展開を実施し、利用者増加に向けた努力をしてほしい。

令和3年度 指定管理者管理運営状況評価

1.施設概要

施設名	つくばみらい市立みらい平コミュニティセンター つくばみらい市立小絹コミュニティセンター つくばみらい市立谷井田コミュニティセンター つくばみらい市立板橋コミュニティセンター	施設所管課	生涯学習課
指定管理者	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社		
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日まで(5年間)		
施設目的	子供からお年寄りにいたる各層の交流の場、地域文化を育む場など多目的な施設として設置し、市民の地域活動の活性化、相互交流及び文化の向上に寄与することを目的とする。		
所在地	みらい平コミュニティセンター つくばみらい市紫峰ヶ丘4丁目4番地1 小絹コミュニティセンター つくばみらい市小絹848番地 谷井田コミュニティセンター つくばみらい市谷井田1960番地 板橋コミュニティセンター つくばみらい市板橋2675番地1		
施設概要	みらい平コミュニティセンター (多目的室、研修室、和室、調理室、図書館、児童館、子育て支援室、音楽スタジオ 等) 小絹コミュニティセンター (多目的室、研修室、和室、図書館 等) 谷井田コミュニティセンター (多目的室、研修室、和室、調理室 等) 板橋コミュニティセンター (多目的室、研修室、和室、調理室 等)		
主な業務内容	コミュニティセンターの管理運営全般 (1)施設の運転管理に関する事 (2)施設及び設備の維持管理に関する事 (3)施設の修繕に関する事 (4)コミュニティセンターに関する事 (5)児童館に関する事 (6)子育て支援室に関する事 (7)図書館分館に関する事 (8)コミュニティ事業の実施に関する事 (9)広報と各種情報の提供に関する事 (10)利用料金の徴収に関する事 (11)自主事業の実施に関する事 (12)利用者からの苦情・問合せ受付及び対応に関する事		

◎評価基準

- A/5点…優れている
- B/4点…適正である
- C/3点…改善が必要である
- D/0点…仕様書等が順守されていない

2.運営評価

I コミュニティセンター事業

	No.	項目(指定期間全体を通しての評価内容)	評価・評点		評価理由(B以外の評価の場合)	
(ア)実施体制に関する評価	1	適切な人員配置が行われたか。	B	4		
	2	職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	C	3	年度計画書に記載された職員研修のうち、コンプライアンス研修については、職員全員が受講対象となっていたが、事務室職員が一部未受講だったため。	
	3	市個人情報保護条例の規定を遵守し、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、漏えい、滅失及びき損等の事故が起きていないか。	B	4		
	4	市情報公開条例の趣旨に則り、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または市から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	B	4		
	5	事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	B	4		
	6	市からの改善事項を受け適切な改善を行ったか。	B	4		
(イ)サービス等の内容や水準に関する評価	7	利用者アンケート等により、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取り組みが行われたか。	B	4		
	8	利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	B	4		
	9	利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	B	4		
	10	利用者数等の実績が目標値に達しているか。	C	3	新型コロナウイルス感染状況により、臨時休館や利用制限を設けたのはいたしかたないが、利用者数は目標値に達していない。	
	11	市民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	B	4		
(ウ)収支等の評価	12	住民サービスの向上を図るための自主事業を積極的に計画し、実施しているか。	B	4		
	13	利用者が快適に施設を利用できるよう適切に施設の保守、修繕、清掃等が行われたか。	B	4		
	14	備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	B	4		
	15	省エネやゴミの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	B	4		
	16	金銭の管理が適正に行われたか。	B	4		
	17	指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	B	4		
	18	経費削減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	B	4		
	19	収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。 ※収益性が低い施設の場合、適正な収入が得られているか。	B	4		
	20	その他特徴的な取組があった場合具体的な取組を記入 (・太陽光モニターを利用した施設紹介動画 ・ワークボックスの設置 ・長期休みの学習スペースの設置 ・携帯電話の緊急充電サービス ・季節に合わせたイルミネーションの設置)	A	5	十分な感染症対策を図るとともに、ワークボックスの設置や密にならない学習スペースの確保など、利用者に関心と安心感を与え、効率的な施設運営が図られたと判断する。	
【総合評価の採点方法】			総合評価	C	79 / 100点	一部改善が必要である

合計点	評価	
92点以上	A	優れている
80点以上91点以下	B	適正である
79点以下	C	一部改善が必要である
Dがある場合	D	改善が必要である

施設所管課の評価

来館者数は、臨時休館や利用制限等により、目標値を下回る数値となったが、日々の感染防止対策の徹底により、「安心して利用できる施設」など、貴重な意見をいただいております。施設の運営・管理については、評価できるものである。今後は、感染防止対策を行いつつ、自主事業であるイベントや講座などの充実を図り、来館者の増加につなげていただくとともに、来館者が楽しく施設を利用できるよう創意工夫して、運営を行っていただきたい。また、感染再拡大等により臨時休館や利用制限があることを想定しながら、様々なアイデアを活用し、例年どおりのイベント・講座などにとどまらない事業展開を図りながら、これまでの経験、反省を活かし、利用者にとって最高のサービスが提供できるような施設運営を目指していただきたい。

ii 図書館事業

	No.	項目(指定期間全体を通しての評価内容)	評価・評点		評価理由(B以外の評価の場合)
(ア)実施体制に関する評価	1	適切な人員配置が行われたか。	B	4	
	2	職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	B	4	
	3	市個人情報保護条例の規定を遵守し、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、漏えい、滅失及びびき損等の事故が起きていないか。	B	4	
	4	市情報公開条例の趣旨に則り、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または市から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	B	4	
	5	事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	B	4	
	6	市からの改善事項を受け適切な改善を行ったか。	B	4	
(イ)サービス等の内容や水準に関する評価	7	利用者アンケート等により、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取り組みが行われたか。	B	4	
	8	利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	B	4	
	9	利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	B	4	
	10	利用者数等の実績が目標値に達しているか。	B	4	
	11	市民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	B	4	
	12	住民サービスの向上を図るための自主事業を積極的に計画し、実施しているか。	B	4	
	13	利用者が快適に施設を利用できるよう適切に施設の保守、修繕、清掃等が行われたか。	B	4	
	14	備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	B	4	
(ウ)収支等の評価	15	省エネやゴミの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	B	4	
	16	金銭の管理が適正に行われたか。	B	4	
	17	指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	B	4	
	18	経費削減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	B	4	
	19	収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。 ※収益性が低い施設の場合：適正な収入が得られているか。	B	4	
	20	その他特徴的な取組があった場合具体的な取組を記入 (対象年齢を設けず、どなたでも参加できる密になりにくいイベントとして、図書館川柳を募集し、応募作品をしょりに印刷して配布した。)	B	4	

【総合評価の採点方法】

合計点	評価	
92点以上	A	優れている
80点以上91点以下	B	適正である
79点以下	C	一部改善が必要である
Dがある場合	D	改善が必要である

総合評価	B	80	/100点	適正である
------	---	----	-------	-------

施設所管課の評価
<p>各種イベントについては、コロナ禍により、例年以上に対応等に苦慮されたと思われるが、趣味嗜好の多種多様化等により、参加者数が伸び悩んでおり、事業内容の検討や改善を引き続き図って行って欲しい。</p> <p>しかしながら、コロナ禍の中、各種イベント等を定期的に計画し、開催している事は評価できます。</p> <p>利用者数等においては、コロナ禍においても利用者数を増加させるための取り組みを引き続きお願いしたい。</p> <p>図書館システムの再構築にあわせて、2020年2月から全館に導入したWi-Fi及びインターネット用端末は、図書館への要望としても挙げられていたため、引き続き積極的に活用するよう取り組んでいただきたい。</p>

iii 児童館事業

	No.	項目(指定期間全体を通しての評価内容)	評価・評点		評価理由(B以外の評価の場合)	
(ア)実施体制に関する評価	1	適切な人員配置が行われたか。	B	4		
	2	職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	B	4		
	3	市個人情報保護条例の規定を遵守し、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、漏えい、滅失及びびき損等の事故が起きていないか。	B	4		
	4	市情報公開条例の趣旨に則り、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または市から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	B	4		
	5	事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	B	4		
	6	市からの改善事項を受け適切な改善を行ったか。	B	4		
(イ)サービス等の内容や水準に関する評価	7	利用者アンケート等により、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取り組みが行われたか。	B	4		
	8	利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	B	4		
	9	利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	B	4		
	10	利用者数等の実績が目標値に達しているか。	C	3	新型コロナウイルス感染状況により、臨時休館や利用制限があったことはやむを得ないが、利用者数等の実績が目標値に達していない。	
	11	市民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	B	4		
	12	住民サービスの向上を図るための自主事業を積極的に計画し、実施しているか。	B	4		
	13	利用者が快適に施設を利用できるよう適切に施設の保守、修繕、清掃等が行われたか。	B	4		
	14	備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	B	4		
(ウ)収支等の評価	15	省エネやゴミの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	B	4		
	16	金銭の管理が適正に行われたか。	B	4		
	17	指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	B	4		
	18	経費削減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	B	4		
	19	収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。 ※収益性が低い施設の場合:適正な収入が得られているか。	B	4		
	20	その他特徴的な取組があった場合具体的な取組を記入 (・チャレンジウィークと工作ウィークを実施してイベントに参加できる確率を増やした・おもちゃを増やした)	A	5	コロナ禍でのイベント参加者増加に向けた取り組みを自主的に実施した。	
【総合評価の採点方法】			総合評価	B	80 / 100点	適正である

合計点	評価	
92点以上	A	優れている
80点以上91点以下	B	適正である
79点以下	C	一部改善が必要である
Dがある場合	D	改善が必要である

施設所管課の評価
<p>全体的な事業を確認すると、イベントに関してはソーシャルディスタンスを踏まえ、開催日数を増やし密にならないように工夫したり、参加者も期間中であればいつでも参加できる機会を増やし対応していることは評価できる。しかし、みらい平地区は市内でも突出して児童数が多いため、利用者の意見や他施設の実施内容等を精査し、マンネリ化しない工夫を行い、利用者増加に向けた事業展開を実施していただきたい。</p> <p>新型コロナウイルスの感染防止対策として一日に何度も換気、消毒を行い、安全対策にもとても苦慮されていると思う。おもちゃの消毒用に滅菌庫の購入や空気清浄機の設置等、利用者が安全、安心に利用して頂けるように運営出来ていることは評価できる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策をしていく中でも、来館者が楽しく過ごせるような工夫やアイデアをもって企画、運営してもらいたい。</p>

iv 子育て支援室事業

	No.	項目(指定期間全体を通しての評価内容)	評価・評点		評価理由(B以外の評価の場合)
(ア)実施体制に関する評価	1	適切な人員配置が行われたか。	B	4	
	2	職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	B	4	
	3	市個人情報保護条例の規定を遵守し、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、漏えい、滅失及びびき損等の事故が起きていないか。	B	4	
	4	市情報公開条例の趣旨に則り、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または市から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	B	4	
	5	事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	B	4	
	6	市からの改善事項を受け適切な改善を行ったか。	B	4	
(イ)サービス等の内容や水準に関する評価	7	利用者アンケート等により、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取り組みが行われたか。	B	4	
	8	利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	B	4	
	9	利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	B	4	
	10	利用者数等の実績が目標値に達しているか。	C	3	新型コロナウイルス感染状況により、臨時休館や利用制限があったことはやむを得ないが、利用者数等の実績が目標値に達していない。
	11	市民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	B	4	
	12	住民サービスの向上を図るための自主事業を積極的に計画し、実施しているか。	B	4	
	13	利用者が快適に施設を利用できるよう適切に施設の保守、修繕、清掃等が行われたか。	B	4	
	14	備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	B	4	
(ウ)収支等の評価	15	省エネやゴミの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	B	4	
	16	金銭の管理が適正に行われたか。	B	4	
	17	指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	B	4	
	18	経費削減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	B	4	
	19	収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。 ※収益性が低い施設の場合：適正な収入が得られているか。	B	4	
	20	その他特徴的な取組があった場合具体的な取組を記入 (・Instagram開設・利用者支援事業を開始し出産前からの支援体制を実施 ・ペアレントトレーニング教室の開催)	A	5	新たな取り組みや事業を率先して実施した。

【総合評価の採点方法】

合計点	評価	
92点以上	A	優れている
80点以上91点以下	B	適正である
79点以下	C	一部改善が必要である
Dがある場合	D	改善が必要である

総合評価	B	80	/100点	適正である
------	---	----	-------	-------

施設所管課の評価
<p>子育て世帯を支える拠点として、支援室は親子が自由に参加でき、保護者が職員に育児相談をしたり、子ども同士の交流等様々な利点がある。育児に悩む母親等も多く参加することから、職員の資質の向上も重要であるが、悩みを共有する保護者同士の交流を図る場として、各関係機関や地域組織と積極的に連携した支援や事業展開を実施して欲しい。</p> <p>新型コロナウイルスの感染防止対策として、一日に何度も換気、消毒を行い、安全対策にもとても苦慮されていると思う。そのような中で、利用者支援事業としてママババかかりつけコーディネーターを配置したことや、Instagramによる情報発信、臨時休館中も子育てボランティアと協力してドライブスルー方式等で利用者とのつながりを大切にされた事業を展開したことは評価できる。</p> <p>1施設のみで、地域の親子を支援することは困難であることから、おやこまるまるサポートセンター内の子育て支援室BLOOMをはじめ、各関係機関や地域組織と積極的に連携した支援や事業展開を実施して欲しい。</p>